

## 第1回 意思決定支援研修会アンケート結果

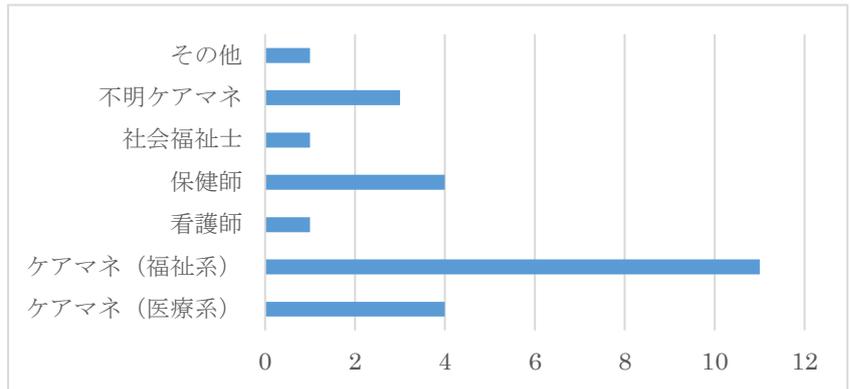
日時 平成30年6月21日(木) 14:00~16:00

会場 神照まちづくりセンター

参加数 30人 アンケート回答者 25人 回答率(83%)

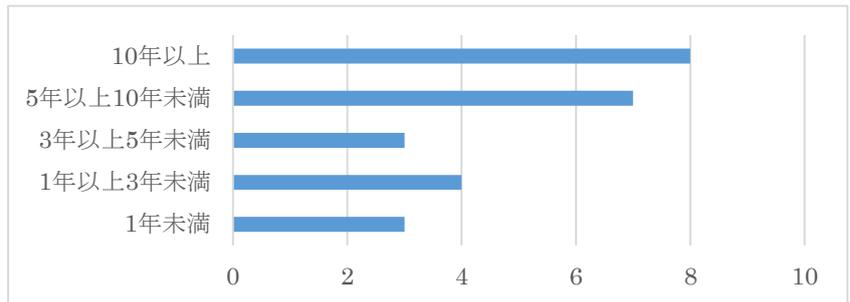
### Q1 現職種

| 職種        | 人数 |
|-----------|----|
| ケアマネ(医療系) | 4  |
| ケアマネ(福祉系) | 11 |
| 看護師       | 1  |
| 保健師       | 4  |
| 社会福祉士     | 1  |
| 不明ケアマネ    | 3  |
| その他       | 1  |



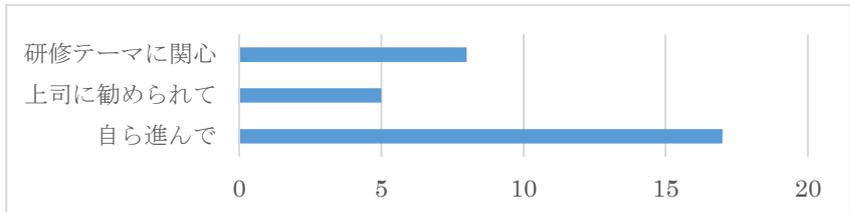
### Q2 経験年数

| 年数        | 人数 |
|-----------|----|
| 1年未満      | 3  |
| 1年以上3年未満  | 4  |
| 3年以上5年未満  | 3  |
| 5年以上10年未満 | 7  |
| 10年以上     | 8  |



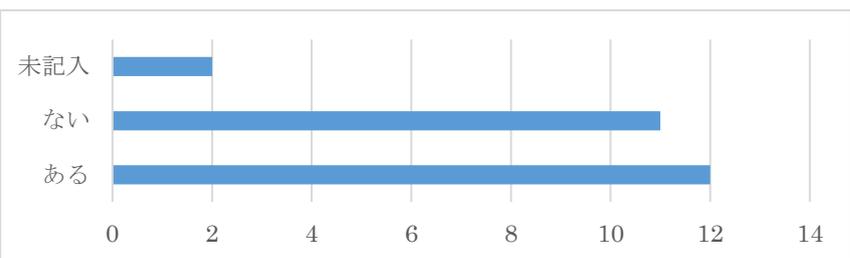
### Q3 参加動機(複数回答)

| 動機       | 人数 |
|----------|----|
| 自ら進んで    | 17 |
| 上司に勧められて | 5  |
| 研修テーマに関心 | 8  |



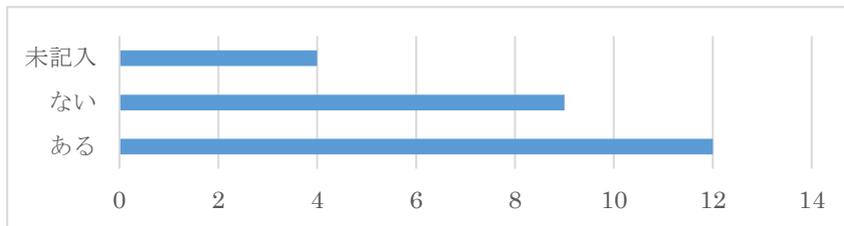
### Q4 意思決定支援の学習

| 学習経験 | 人数 |
|------|----|
| ある   | 12 |
| ない   | 11 |
| 未記入  | 2  |



### Q5 意思決定支援で困っている事

| 困っている事 | 人数 |
|--------|----|
| ある     | 12 |
| ない     | 9  |
| 未記入    | 4  |

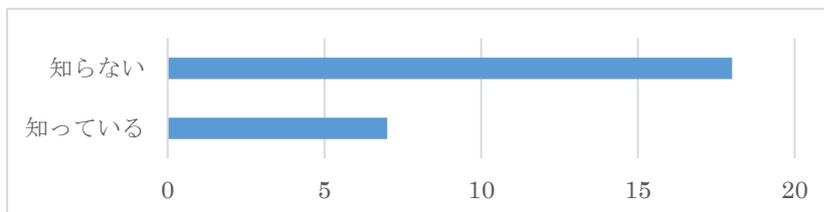


| 現職の経験年数   | 困りごとが「ある」と回答した方の内容／基礎資格 ※（ ）以外は福祉系  |
|-----------|---|
| 1年未満      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「まだ考えられない」と言われると、それ以上話ができない</li> </ul>   |
| 1年以上10年未満 | <ul style="list-style-type: none"> <li>家族の思いが揺れ動いている時、また、途中で迷われる時の支援</li> <li>終末期における意思について、確認するタイミングや確認する方の注意事項</li> <li>元気なうちに意思確認が適切と思いつつも、いつ本人の終末の意思を確認したらいいか、どのように確認しようかと悩みながら、ぎりぎりまで確認できずにいる</li> <li>病気のこと治療のこと選択肢を示して欲しい→医療職へ（医療CM）</li> <li>がんについてはサポート体制大切（医療CM）</li> </ul> |
| 10年以上     | <ul style="list-style-type: none"> <li>どのタイミングで聞いていくのが難しい</li> <li>サービスを利用する方が良いが、お金がないケースが増えていて、本人が望んでも導入できなかつたり… 経済面での制限</li> <li>本人の思いと家族の思いが違った場合、家族の意見が優先されてしまう</li> <li>キーパーソンが見つからない時（保健師）</li> <li>タイミング（保健師）</li> </ul>  |

| 現職の経験年数   | 「ない」と回答した方／基礎資格 ※（ ）以外は福祉系  |
|-----------|---|
| 1年以上10年未満 | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内での話し合いが常にできる為（事業所に医療職のケアマネも多い）</li> <li>具体的に今、困っていることはありませんが、普段から関係性を築くことで解決することが多いのではと感じました。</li> </ul> |

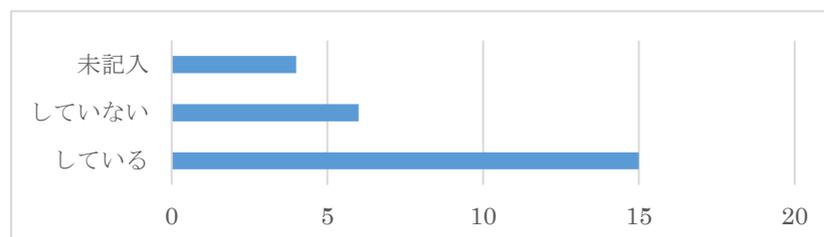
### Q6 ガイドラインの認知度

| 認知の有無 | 人数 |
|-------|----|
| 知っている | 7  |
| 知らない  | 18 |



### Q7 人生の最終段階の医療やケアについて本人やご家族の意思を確認しているか

| 意思確認の有無 | 人数 |
|---------|----|
| している    | 15 |
| していない   | 6  |
| 未記入     | 4  |

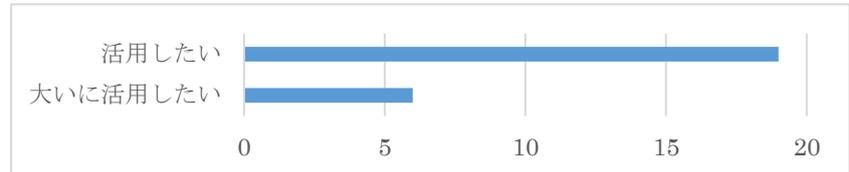


### 「意思確認をしていない」と回答された方の理由

- ◇ 現在、直接支援に関わっていない為… 3人
- ◇ 中々、重い話なのでできていない
- ◇ いろいろなケースによっては聞けている
- ◇ 言い出しづらく話せていない。「よく言うてくれた」と言ってもらえる関わりができるようにする

### Q8 今後の支援にガイドラインを活用したいか

| ガイドラインの活用 | 人数 |
|-----------|----|
| 大いに活用したい  | 6  |
| 活用したい     | 19 |



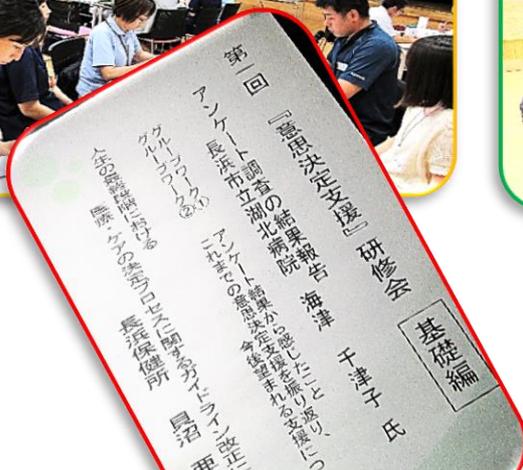
### Q9 本研修会で印象に残ったキーワード

| 現職の経験年数   | 印象に残ったキーワード／基礎資格 ※（ ）以外は福祉系   |
|-----------|---|
| 1年以上3年未満  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 本人、家族、支援者等のくり返しの話合い</li> <li>◇ 決定後も揺れ動く意思、親せきや離れて暮らす家族が発する「ノイズ」</li> <li>◇ チーム支援、医療との連携の大切さなど改めて感じた（医療CM）</li> <li>◇ チームケア（医療CM）</li> </ul>  |
| 3年以上10年未満 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ チームケア</li> <li>◇ 多職種（専門職）の連携</li> <li>◇ 本人の意思</li> <li>◇ 先をみて（見通しを持って）チーム支援</li> <li>◇ 早い段階で種をまく</li> <li>◇ チーム支援、早期確認、繰り返しの確認</li> <li>◇ ケアマネジメントの中にも意思決定支援の役割が大いにあるのが印象的でした（医療CM）</li> </ul> |
| 10年以上     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 後悔のない支援ができるように</li> <li>◇ 本人による意思決定が基本→早い段階から確認しておくこと</li> <li>◇ チームで関わる（保健師）</li> <li>◇ 本人や家族に寄り添う（保健師）</li> <li>◇ チーム支援、多職種連携、プロセスが大切。今までのCM研修と同一でした（医療CM）</li> </ul>                        |

### Q10 感想・意見

| 現職の経験年数 | ご感想・意見／基礎資格 ※（ ）以外は福祉系   |
|---------|--|
| 1年未満    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ベテランのケアマネージャーの考えや経験が聞けてよかった。</li> <li>◇ 自分自身、家族で決定できない、決定には関わる方々の支援、助言が意思決定には必要と思います</li> </ul> |

|           |   |
|-----------|---|
| 1年以上10年未満 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ グループワークをすることで、皆さんがどんなことを考え、どんな思いで利用者さんや家族さんに関わっておられるか、細かいところまで聞けたので、とても参考になりました</li> <li>◇ グループワークなので少し引き気味で参加したのですが、結構楽しくグループワークができ、参加してよかったと思いました</li> <li>◇ このような機会はなかったので、大変勉強になりました</li> <li>◇ 市民に75才になったら、エンディングノートを配布していただきたい（保健師）</li> <li>◇ いろんな職場の方と交流できて、実りあるものでした（医療CM）</li> <li>◇ 幅広いテーマ設定のグループワークで色々な視点を知る事ができました</li> <li>◇ 意思決定支援研修を受けて、少しだけ自信にもなったし今後最終段階になるケースを持てるように努力していきたい</li> </ul> |
| 10年以上     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ エンディングノートの使い方を改めて考えさせられました</li> <li>◇ あまり考えたことがなかったので、よい機会になった（保健師）</li> </ul>   |



### ～所感～

第1回意思決定支援研修会では30人の参加でしたが、約8割の方の基礎資格が福祉職です。海津氏の報告から、人生の最終段階における医療的な相談支援の対応やキーパーソンの捉え方など、ケアマネさんの人生観や価値観、経験値によって考え方に相違があるだろうと推測します。

今回のグループワークのテーマは、アンケート結果の現状から今後望まれる支援について話して頂きましたが、チーム活動や医療と介護の情報連携の大切さ、エンディングの早期意思確認など、どのグループも盛り上がりのある話し合いになったと自負しています。新人ケアマネさんからもベテランケアマネさんの考えや経験が参考になるとご感想を頂きました。続いて、貝沼氏から標記ガイドラインの改正ポイントを情報提供していただきました。医師など医療従事者から適切な情報提供と説明がなされた上で、自分らしく、より良い最期を迎えるために、本人の尊厳を基本とし、本人の意思は変化しうるものであるため医療・ケア関係者と繰り返しの話し合いを通じて本人の意思を確認しておく事が大切です。このことはグループワークのお役にになり、ガイドラインを知らないと回答された7割の方にとっても実践的な学びになったと思います。

当然、気持ちは状況によって揺れるものですが、海藻は根っこの部分は一つであるように療養者さんやご家族の気持ちの神髄をしっかりと意思確認していただける事を願います。